

あおぞら

第63号



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長 【High Growth】

目次

副院長就任の御挨拶	2
心臓血管外科新体制について	4
ご挨拶	5
「オンライン資格確認」を導入しました	6
栄養科通信を掲示しています	7
NEW FACE	7
外来週間診療予定表	8

特定医療法人

副院長就任の御挨拶

副院長 兼 循環器内科部長

石崎 正彦



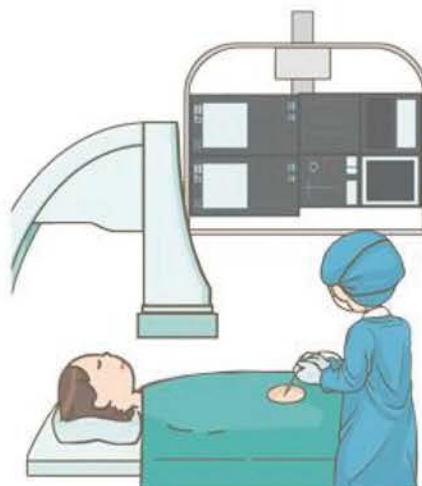
この度病院副院長を拝命いたしました石崎正彦です。実は中学3年生の時に当院にて急性虫垂炎の手術をしていただいた既往歴、御恩があります(笑)。

2001年に私が初めて当院に赴任した時はまだ30歳になる前でした。当時の循環器内科は上司と2人体制で、原則年中24時間第1拘束、救急車はほぼすべて自分が主治医担当という虎の穴時代を過ごしたこともありました。その後いったん転勤となり4年ほど離れましたが、2008年4月より再び当院に赴任し現在に至っております。

全国的に見ても、少ない人数で救急対応も含めてこれだけの症例数を維持している病院はほとんどありません。それでも続けてこられたのは循環器内科だけではなく佐賀大学から来ていただいている歴代の心臓血管外科の先生方の献身的な尽力によるところが大きいと考えており、この場を借りて心よりお礼と感謝を申し上げます。

現在当院を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、長崎市北部医療圏において循環器救急に対応できる数少ない医療機関として存続させていくことが今いる者の使命だと思っております。そのためには院内、院外の関係者の方々の一層の御理解、御協力が不可欠です。特に現場で働くスタッフが日々の業務にやりがいを実感することができ、成長しつつ長く勤務を続けたいと思ってもらえるような環境づくりのため、これからも微力を尽くしてまいりたいと思います。

日々の業務をこなすだけで精一杯のこともよくありますが、皆様今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



副院長就任のご挨拶

副院長 兼 糖尿病内科部長
兼 医療技術部長
世羅 康德



2022年4月より光晴会病院副院長を拝命致しました世羅康德です。一言副院長就任のご挨拶を申し上げます。

私は1990年長崎大学医学部を卒業し、長崎大学第一内科に入局。関連病院にて研修後、1994年より代謝班(現内分泌代謝内科グループ)に所属、主に糖尿病診療に従事し、2010年より当院に勤務しております。赴任当時は三宅糖尿病センター長の下、2人態勢で糖尿病診療を行い、2011年からは代謝班より若手の医師の派遣を得、3人体制へ。2015年7月からは現赤澤糖尿病センター長をお迎えし、現在に至っております。現在の糖尿病診療の状況ですが、外来は月～金曜日2人外来体制を継続し、栄養士による栄養食事指導に加え、栄養士・看護師・薬剤師と協働して、糖尿病透析予防、フットケア外来、インスリン注射指導を行っております。さらに外来糖尿病教室や、1型糖尿病の患者さんの会、さらには当院糖尿病患者さんの会「あおぞらの会」などで患者さん同士での意見交換の機会を設けておりましたが、残念ながらここ数年コロナ禍で開催できずにあります。新規抗糖尿病薬剤や血糖測定デバイスの進化への対応、患者さんの高齢化の問題など日々勉強が続いております。

患者さんの高齢化や、コロナ禍での外来受診機会の減少、また糖尿病の入院症例も減少し、病院経営にも影響が出ています。地域の医療機関の先生方との病診・病々連携、加えて介護部門との連携が重要となってきております。4月より宮崎副院長の後任として地域連携室顧問も担当しております。コロナ禍が終息し、早く地域連携の会で先生方とお会いできることを願ってやみません。今後とも先生方とともに地域医療に貢献する所存です。宜しくお願い申し上げます。



心臓血管外科新体制について



心臓血管外科部長

佐藤 久

2022年4月より光晴会病院 心臓血管外科部長を拝命しました佐藤久と申します。私は福岡県で生まれ育ち、当時の佐賀医科大学に入学し、2002年佐賀医科大学 胸部心臓血管外科に入局し、これまで、佐賀県立病院好生館(佐賀市)、新古賀病院(福岡県久留米市)、福岡徳洲会病院(福岡県春日市)、大隅鹿屋病院(鹿児島県大隅半島)で心臓血管外科医として研鑽を積んでまいりました。佐賀は佐賀牛、福岡はラーメン、鹿児島の鹿児島牛、黒豚、薩摩地鶏など、その地域のおいしいものを食べるのが大好きで、長崎では新鮮な魚介類を日々満喫しています。

さて、当院の心臓血管外科ですが、1996年に開設され、数千例の心臓血管手術を行い、歴代の部長から高名な心臓外科医を多数輩出している非常に実績のある診療科です。そこに2022年6月から古賀佑一医師が新たに就任され、心臓血管外科医が二人の新体制となりました。

我々の専門領域は虚血性心疾患、心臓弁膜症、大血管疾患などの成人心臓血管外科領域一般と全身の血管の外科治療です。虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)に対しては、長期開存が期待できる両側の内胸動脈をメインで使用し、安定した循環動態、良好な視野で冠動脈バイパス術を行い、バイパスの高い開存率を維持しています。心臓弁膜症(大動脈弁、僧帽弁疾患など)では、大動脈弁狭窄症に対するTAVI(カテーテルで行う大動脈弁の治療)、僧帽弁閉鎖不全症に対するMitra Clip(カテーテルで行う僧帽弁の治療)が普及してきている現代において、治療の適応を慎重に検討し、外科医として併発症、偶発症の少ない安全で確実な弁形成、弁置換術を行っています。大血管疾患(大動脈瘤、大動脈解離など)に対しては、開

胸、開腹による人工血管置換術だけでなく、患者様の疾患や全身状態に応じて、開胸、開腹を必要としないステントグラフト治療(カテーテル治療)も行っています。心臓、大血管疾患だけでなく、下肢静脈瘤や、透析患者様に対する手術も積極的に行っています。静脈の逆流防止弁の故障が原因の下肢静脈瘤は全人口の10人に1人、出産後の女性は2人に1人がもっているとされており、生命にかかわるものではありませんが、足の痛みやむくみ、こむら返り、色素沈着、うつ滞性皮膚炎などの原因となり、生活の質の低下につながります。カテーテルを使用し、切らずに、痛みもほとんどない血管内焼灼術が効果的で、患者様の満足度が非常に高い治療です。1泊2日の入院にて行うことで、日帰り手術ではできないような静脈瘤切除も併用した治療を低侵襲にて行うことができます。患者様の御希望によっては日帰り手術にも対応しています。また、透析患者様は動脈と静脈をつなげたシャントから血液透析を行いますが、血管が細かったり、血流が悪い患者様にも何とかして動脈と静脈をつなげる必要があるため、維持透析ができるように様々な手術を工夫して行っています。

我々外科医の仕事は「手術をすること」ではなく、「手術治療によって安心した生活を取り戻してもらうこと」です。患者様、その御家族に治療の選択肢、必要性、危険性などを十分説明の上、社会的背景なども考慮し、患者様、御家族が満足していただけるような治療を行うことを信条としています。これまでの経験を活かし、循環器内科や多職種スタッフと協力しハートチームとして、長崎の皆様のために地域の病院とも連携し、尽力していく所存でございます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶



本年3月31日を以って私の光晴会病院における通常の外来診療を終結しました。昭和54年(1979)6月の当院開院以来 正職員(理事)、非常勤職員期間を通じて43年の長きに亘り週4~2日の外来診療でしたが、この間 病欠したのは多分1日だけだったと思います。

「外来」はいわば「病院の顔」と言う信念の下に外来診療にはとくに心を注いできましたが、流石に最近は少し億劫になってきてそろそろ止める潮時かと考えていたところ、事情があって予定より1年早い終結となりました。

43年の間 外来診療を大過なくやってこられたのは、医師諸氏はもとより病院職員ご一同の協力の賜物であったと感謝に耐えません。医師になって58年、この間 自分自身にも病院にとっても、そして医療界にも実に様々な出来事がありました。病院そのものも運営上の不手際から將に沈没寸前の危機にまで至ったこともあります。今 これらについて述べればきりがなく、所謂 年寄の述懐になってしまいますので止めますが、私が理事であった時代、「あおぞら第2号(2005年11月発行)の巻頭に「新生光晴会病院の門出」と称して病院創立25年以上経過したこの時期(2005,平成17年)に光晴会病院が旧套を打破して大きく変遷しようとする状況をそれ迄の経過を踏まえて述べていますが、今 これを読み返してみますと、現状はこれらの内容が確実に発展、実行されていることに限りない喜びを感じます。改めて職員ご一同の努力に感謝します。現在 世界中を席卷しているコロナ禍を契機に医療界も更に大きくかわっていくことは間違いないと思います。今後 光晴会病院が地域の基幹病院として発展していくことを願うばかりです。

私も当院での通常の医療業務は終わりましたが、今後 何かの役に立てばと思い日本医師会発行の「医師資格証」なるものを申請、取得しました。

また私事では趣味の模型工作(製作)もまだ細々と続けています。ただ 木工、金工はもう殆どしなくなり、今は専らペーパークラフトです。まだ暫くは続けられそうです。ボケ防止にも良いですよ。

最後になりましたが、皆様方のご健康、ご多幸を祈念しています。

2022年6月 吉岡 正人



当院では2022年5月より

「オンライン資格確認」を導入しました。

「オンライン資格確認」とは、全国民の資格履歴を一元的に管理し、患者のマイナンバーカードや保険証をもとに加入している医療保険などをすぐに確認できる仕組みです。

2021年10月20日から全国での運用がスタートしました。

「オンライン資格確認」では、マイナンバーカードのICチップまたは、健康保険証の記号番号等により、オンラインで資格情報の確認ができます。

「オンライン資格確認」を導入すると、次のようなメリットがあります。

- ①保険証の入力ミスを防げる
- ②有効な保険資格かどうかその場で確認できる
- ③限度額適用認定証をオンラインにより確認できる

本人確認の方法は大きく2つあります。

1. マイナンバーカードを提示された場合

- ・顔認証式カードリーダー
- ・窓口スタッフによる目視による顔認証
- ・4桁の暗証番号を患者本人が入力して本人確認

2. 健康保険証を提示した場合

- ・従来と同じように、窓口スタッフが保険証の記号番号等を端末へ入力し本人確認



マイナ受付
対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナンバーカードが保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと

POINT 01
より良い診療が可能です！
初めての医療機関等で、医師情報や処方箋を受け、今までに受けた薬の履歴が共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。 ※薬歴データは、医師・薬剤師・検査技師が連携して共有します。

POINT 02
手続きなしで限度額以上の一時的な支払が不要に！
高額療養費制度等が広くても、高額療養費制度における限度額を超える支払が発生されず。

このステッカーが目印！

マイナ受付

事前に登録するだけで利用できます！

厚生労働省 詳しくは [マイナポータル](#)

栄養科通信を掲示しています。

夏を乗り切る!! 野菜のとり方!

夏の野菜は他の季節より多くの水分が含まれています! 脱水で脳梗塞や心筋梗塞のリスクが高い夏を乗り切るには、一体どれくらい野菜を食べると良いのでしょうか?

突然ですが!
1日に必要な野菜の量を知っていますか?

野菜は1日350g!
両手いっぱいにもてるくらいの量です

クイズ 100gってどのくらい?

トマト の100gは...
めくって みましよう!

ピーマン の100gは...
めくって みましよう!

きゅうり の100gは...
めくって みましよう!

アスパラガス の100gは...
めくって みましよう!

野菜のちから

水分
夏の野菜には水分がたっぷり! 脱水、熱中症対策になります。

食物繊維
糖尿病などの生活習慣病の予防・改善に効果的です。

色素成分・香り成分
野菜の色や香りの成分には、抗がん作用や血圧を上昇のにくくする作用など健康への効果が期待されています。

ビタミン
夏野菜には、紫外線から皮膚を守ってくれるビタミンがたくさん含まれています。

ミネラル
脳梗塞や心筋梗塞のリスクを下げる働きを持っています。色の濃い野菜は特に多いです。

なす トマト 冬瓜 コーヤ スピーニ オクラ アスパラガス とうもろこし 緑豆

いろいろな野菜! 夏が旬の野菜

じつは... 野菜じゃありません!

外来採血室前に「栄養科通信」を掲示しています。
クイズ形式になっていますので、ぜひチャレンジしてみてください。



- ①氏名 ②診療科 ③出身地
④趣味/特技 ⑤自己PR

医師



- ①古賀 佑一(こが ゆういち)
②心臓血管外科
③佐賀県
④スポーツ観戦・幅広い年代層とのコミュニケーション
⑤今までの臨床経験と持ち前のコミュニケーション能力を存分に活かして、皆さんに信頼される医療を届けられるように頑張ります。



- ①成田 翔平(なりた しょうへい)
②消化器内科
③長崎県
④ネットサーフィン、猫
⑤内視鏡検査など、皆さんのお役にたてるよう頑張ります。

外来週間診療予定表

2022年6月17日～

	月	火	水	木	金	土
内科	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	
	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓)	むらた とみや 村田 朋哉 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	
	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	さわせ あつし 澤瀬 篤志 (腎・一般)	はらだ ようすけ 原田 陽介 (呼吸器)	むらた とみや 村田 朋哉 (消化器)	はらだ ようすけ 原田 陽介 (呼吸器)	
	(非常勤) たうら なおた 田浦 直太 (一般)	なりた しょうへい 成田 翔平 (消化器)	だて まさひろ 伊達 雅浩 (腎・一般)	なりた しょうへい 成田 翔平 (消化器)	いずみ もともり 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	
					むらかみ たつき 村上 達樹 (腎・一般)	
循環器内科	こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦		こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦	
心臓血管外科		さとう ひし 佐藤 久		こが ゆういち 古賀 佑一		
泌尿器科	さかい すずな 酒井 すずな	やまさき やすと 山崎 安人	さかい すずな 酒井 すずな	大学医	やまさき やすと 山崎 安人	
外科	おかだ かずや 岡田 和也	おかだ かずや 岡田 和也	たなか しろう 田中 史朗	すす せいや 進 誠也	すす せいや 進 誠也	
	すす せいや 進 誠也	みぎた かずしげ 右田 一成	きしかわ ひろき 岸川 博紀	みぎた かずしげ 右田 一成	たなか しろう 田中 史朗	
	きしかわ ひろき 岸川 博紀	(非常勤) えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	(非常勤) えんじょうじ たかひろ 円城寺 貴浩	きしかわ ひろき 岸川 博紀	(非常勤) もりうち ゆき 森内 由季 (形成外科)	
【午後】 14:00 ～ 16:00		さわせ あつし 澤瀬 篤志 (腎臓病疾患専門)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓病疾患専門)	(非常勤) しみず としまさ 清水 俊匡 (リウマチ専門)		
【午後】 心臓血管外科 13:00 ～ 15:00		第1・3週 おかだ かずや 岡田 和也 (便秘外来)		13:00～16:00 さとう ひし 佐藤 久 こが ゆういち 古賀 佑一		
糖尿病センター 9:00 ～ 12:00	あかさわ しょういち 赤澤 昭一	あかさわ しょういち 赤澤 昭一	あかさわ しょういち 赤澤 昭一	あかさわ しょういち 赤澤 昭一	あかさわ しょういち 赤澤 昭一	
	かわはら ひろみ 川原 仁美	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳 フットケア	せら やすのり 世羅 康徳	

※ 診療科目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前8:30より 午前11:30まで **予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。**
光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集・発行

責任者：岡田 和也

編集スタッフ：一瀬(南4階) 内海(南5階) 瀧上(医事課)
中尾(クラーク課) 楠山(地域医療連携室)
吉野・瀬戸口(臨床検査科) 金子(顧問)

特定医療法人 **光晴会病院**

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

http://www.kouseikai.org/